

揖斐川町 トンネル長寿命化修繕計画



長良松山トンネル

平成 28 年 12 月
(令和 8 年 8 月更新)



岐阜県 揖斐川町 産業建設部 建設課

1. 道路トンネルの現状と課題

1. 1 現状と課題

○揖斐川町が管理する供用中のトンネルは令和6年3月31日現在2本あります。

○点検による確実な状態把握、点検結果に基づく措置が必要となっています。

1. 2 計画対象（町内道路の路線数と延長）

○揖斐川町は、1, 359路線（611km）の町道を管理しています。（R6.3.31現在）

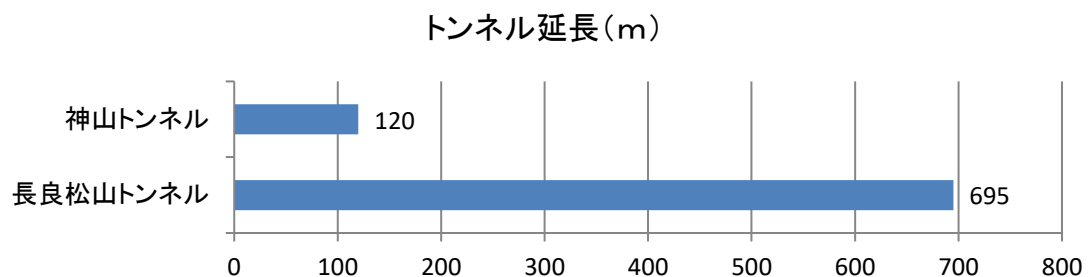
種別	路線数	総延長
1級町道	40	49.0 km
2級町道	56	54.7 km
その他町道	1263	507.3 km
計	1359	611.0 km

1. 2 計画対象（トンネル）

○町内の道路トンネルは2路線、2本、総延長815mです。

○揖斐管内に1本、久瀬管内に1本が設置されています。

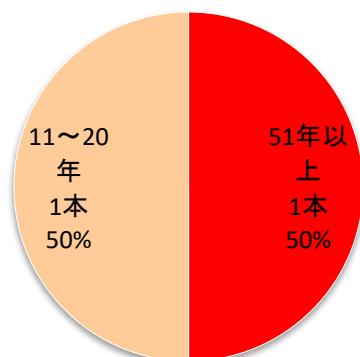
○町内には建設課が管理するトンネルの他に、町他部署が管理するトンネル、他町が管理するトンネルが各1本あります。



1. 3 建設後の経過年数

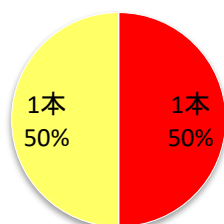
- 建設後の平均経過年数は約45年です。
- 現在(2025年)、建設後50年を越えるトンネルは1本です。
- 40年後には50年を越えるトンネルが100%となります。
高齢化が徐々に進む状況です。

2025年現在

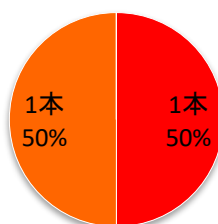


■ 51年以上 ■ 41～50年 ■ 31～40年
■ 21～30年 ■ 11～20年 ■ 10年以下

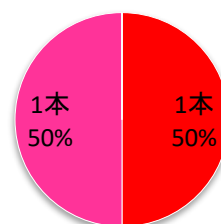
10年後



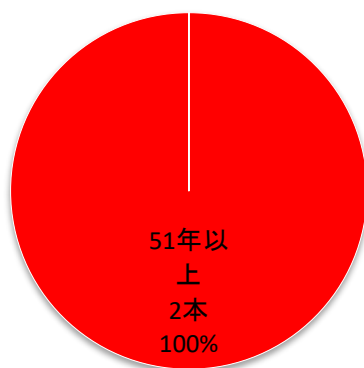
20年後



30年後



40年後

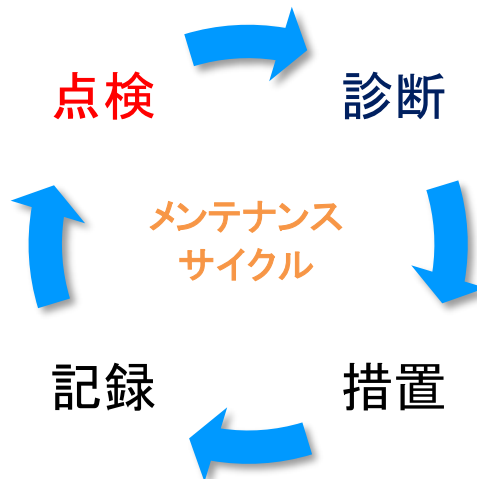


2. メンテナンスサイクルの基本的な考え方

2. 1 基本方針

○今後更に老朽化する道路構造物の増加が見込まれることから、以下を基本方針とします。

1. 点検、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築し持続的に推進します。
2. 今後更に維持管理・更新費用の増加が見込まれることも踏まえ、メンテナンスサイクルの推進により効率的・効果的な維持管理を実施します。



点検： 個別施設計画に基づき、定期的にトンネルの点検を実施し、変状状態の把握に努める。

診断： 定期点検結果に基づき、損傷原因に関する所見をまとめ、対策区分の判定を行う。

措置： 点検結果と個別施設計画からの的確かつ効率的に補修等を行う。

記録： 各種点検結果、補修等の履歴を記録保存する。

2. 2 定期点検・診断

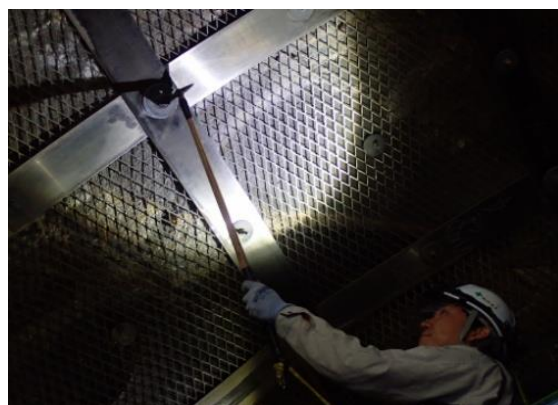
○トンネルの点検については、下記の定期点検要領等に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、結果については4段階で区分します。

道路トンネル定期点検要領（令和6年3月 国土交通省 道路局）

岐阜県トンネル点検マニュアル（令和2年3月 岐阜県県土整備部 道路維持課）

※定期点検要領等が改訂された場合、最新の定期点検要領等に基づき実施する。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

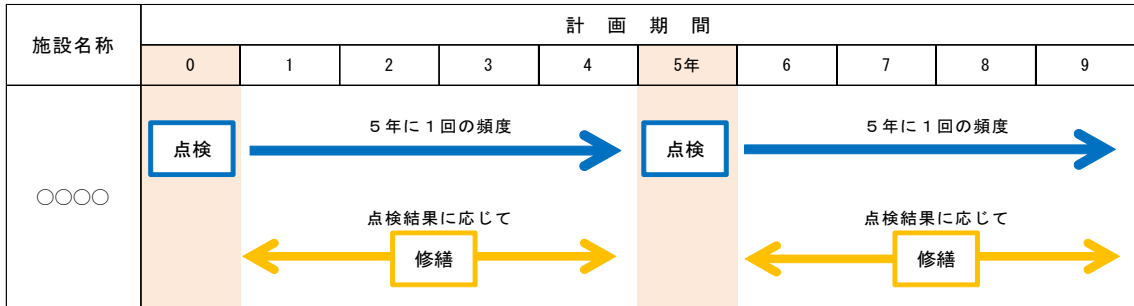


近接目視による点検状況

3. 計画期間

3. 1 計画期間の考え方

- 定期点検サイクルを踏まえ点検間隔が明らかとなるよう、計画期間は10年とします。
- 計画期間（2024年度～2033年度）における老朽化対策等は、別紙「道路トンネル長寿命化修繕計画一覧表」のとおり。
- 点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新します。



4. 対策の優先順位

4. 1 優先順位の考え方

- 点検結果に基づき、効果的な維持及び補修が図られるよう必要な措置を講じます。
- 対策の優先順位は、損傷程度や損傷位置からみる施設の健全性の他、迂回の可否または難易からみるネットワーク、路線の重要性、第3者への影響などから総合的に勘案して判断します。

5. 施設の状態、対策内容、実施時期

5. 1 トンネルの状態

- 揖斐川町が管理するトンネル2本の定期点検を令和5年度に実施し、その結果は判定区分Ⅰ：0本、Ⅱ：2本、Ⅲ：0本、Ⅳ：0本となっています。
- メンテナンスサイクルを継続的に廻すことで、トンネルを長期間にわたって健全な状態に保つことが可能となります。



アーチ部のうき・はく離



アーチ部のひび割れ



側壁部の漏水



側壁部のうき

5. 2 対策内容

- 健全性の診断に基づきトンネルの状態等を十分に把握し、効率的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を実施します。
- 変状劣化に対する主な対策として、覆工（アーチ、側壁）のうき・剥離などに対しては断面修復・表面被覆・ひび割れ注入等、漏水に対しては導水樋・防水パネル等、附属物取付金具の腐食等に対しては部材更新等があります。

5. 3 実施時期

- 実施時期は、点検結果及び維持補修の効率化等を踏まえ決定します。
- 計画期間における対策の実施時期は、別紙「トンネル個別施設計画」のとおりです。

6. 新技術等の活用方針

○令和10年度までに、管理するトンネル2箇所の点検で新技術を活用し、従来技術を活用した場合と比較して、約50万円のコスト縮減を目指します。

7. 集約化・撤去に関する方針

○集約化・撤去対象の検討を行った結果、管理する施設は行政界を跨ぐトンネルや国道の迂回路機能を有するトンネルといった重要な路線のほか、山間部に位置しており、隣接する迂回路がない路線であるため、集約化・撤去を行うことが困難です。
今後、周辺の道路環境や施設の利用状況の変化を踏まえて、再度検討を行います。

揖斐川町トンネル個別施設計画

※本計画は、予算措置状況など必要に応じ見直しを行っていきます。

諸元													直近の点検結果		次回 点検 年度	修繕計画（测试:△ 修繕工事:○）										修繕内容	対策の 着手年度	完了 予定年度	対策に係る 全体概 算事業費 （百万 円）	備考
施設名		路線	建設年度	延長 (m)	幅員 (m)	等級	トンネルの 施工法	起点側の位置			緊急輸送 道路	代替路 の有無	点検 年度	判定 区分		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)					
トンネル名	(フリガナ)	路線名						管内	緯度	経度				I～Ⅳ																
長良松山トンネル	(ナガ'ラマツヤマトンネル)	町道揖斐川三之宮白山線	2006	695	10.25	C	山岳 (NATM)	揖斐	35.477825度	136.588342度	無し	有	R5年度	Ⅱ	R10年度															
神山トンネル	(カミヤマトンネル)	町道久瀬東津汲上山線	1952	120	5.6	D	山岳(矢板)	久瀬	35.561042度	136.502117度	無し	有	R5年度	Ⅱ	R10年度										漏水対策工	R1 (2019)	R3 (2021)	65		